

## ● 北海道大学病院での研修 2021.01.20

あけましておめでとうございます。2021年最初の記事を担当する研修医2年目のK.Sです。昨年からの新型コロナウイルス感染拡大により、病院の情報収集に苦難していることと思います。当院でも現在見学生の受け入れを中止しており、来年度以降のマッチングがどうなるのか予測できない状況です。

さて、今回は私が昨年11～12月に研修させていただいた北海道大学病院リハビリテーション科での研修について書かせていただきます。当院では北海道立北見病院、北海道大学病院が協力型臨床研修病院となっており、当院には開設されていない診療科であっても研修を行うことができます。私は来年度よりリハビリテーション科を専攻するため、北海道大学病院での研修を希望しました。



※協力型臨床研修病院にて選択可能

- ・北海道立北見病院…心臓血管外科、呼吸器内科
- ・北海道大学病院…神経内科、リハビリテーション科、消化器外科Ⅰ、第一内科、第二内科

北海道大学病院のリハビリテーション科では高次脳機能障害、ポストポリオ症候群、脳梗塞後の痙縮を中心にリハビリテーション科で経験する様々な症例を診察させていただきました。事前に痙縮に対するボトックス治療についてのe-learningを受講していたため、ボトックスの筋肉注射なども施行させていただくことができました。

北大での研修は今年度初めて行われたのですが、当院の施設課の方々が住居も手配してくださり、何一つ困らず研修できました。北見赤十字病院での研修が候補の一つではあるけれども、志望科が当院にないという方へのサポートも十分です。是非とも当院での研修をお考えください。

(北大ポプラ並木)